



丸山はるみ いきいき通信 No.22

道政報告
2025年春季号



「ケアマネジャー不足」 介護報酬削減で 事業所維持困難

介護制度が大変です。道内では訪問介護事業所がゼロか、1箇所のみ自治体が82自治体と46%にのぼります。

丸山はるみ道議は、高齢化が進む自治体で、唯一残った介護事業所や、ケアマネジャーの後継者が見つからずに閉鎖した事業所について、聞き取りを行いました。



高橋純一郎・勤医協小樽余市住宅総合センター長（懇談当時）と懇談する丸山道議

「産後ケア事業」新年度予算が増額に！ ～未実施市町村にヒアリング調査などの事業実施～



「オホーツク広域紋別病院」を視察する共産党道議団（右端：丸山道議、左から2人目：真下道議）ら

初めての育児、久しぶりの育児。産後間もない赤ちゃんのママ・パパは、授乳・沐浴などへの不安がいっぱい。心身のケアや授乳指導等、育児サポートを行う産後ケア事業が、道内151市町村で取り組まれています。

産後ケア事業者へ聞き取りを行い、「出産後間もない子育て家庭を孤立させない事業である」と拡充を求め、議会委員会で質問しました。

～最低賃金引き上げに北海道の独自対策を～

道内労働者の約4割、女性労働者の6割が非正規雇用で、その3割が主たる生計者であり、最低賃金の底上げと地方格差の改善が急務です。
丸山道議は「北海道地方最低賃金審議会への要請とともに、鈴木知事に対して、地方労働局に引き上げを働きかけるなど道として独自対策を講じるべき」と質問しました。



北海道労働局に要請する共産党道議団（右端：丸山道議、右から2人目：真下道議）

用途不明・道民負担の 宿泊税やめよ！



道は、観光振興を目的とした新税（宿泊税）を2026年4月から導入する予定です。

しかし、宿泊者の半数を超す道民には賛否も問わず、事業概算の積算根拠も示すことができません。さらには、すでに定率で徴収している倶知安町を条例の対象から外し、町は道の宿泊税に相当する額を道に支払うことで合意し、道宿泊税の制度設計は後回しのまま、条例採択を強行しました。丸山道議は「実施時期ありきの進め方は拙速、提案し直すべき」と知事に迫りました。

知事に要望 「2025年度予算と道政執行」

お米も灯油りません。食料品の値給食や病院け困での対応がいます。道議団は価・燃料高騰いつかず、と護利用者や年低所得者の生極めている。物価高騰対策渡るよう対策ました。

物



冷木知事に要望書を手渡す共産党道議団（左端：丸山道議、中央：真下道議）



丸山はるみ道議



2024年度 活動

「ラピダス」訪問 工場建設地でPFAS調査



半導体製造過程で使用される水には、有機フッ素化合物(PFAS)などが含まれます。日本で禁止されている有機フッ素化合物の使用は否定するも、それ以外は企業秘密と。

製品の軍事利用についても米国との契約で「詳細は回答できず」と。巨額な税金がつき込まれる企業も不明な事だらけです。

北海道電力は、核燃料輸送船の津波退避策について、泊村内に新港を整備する方針を提示しました。

丸山道議は泊村にある原子力PRセンター、新港建設予定地を視察。輸送船入港のための大型工事に伴う自然破壊も危惧されます。

改めて再稼働ありきの姿勢 ～泊原発、新港建設か～



新年度予算で3400万円 ～里親支援センター設置へ～



里親支援を行っている
興正フォスタリングセンター、を視察

「家庭的養育を里親の元で！」里親制度の周知・登録の推進や研修を実施している里親支援団体を訪問し、意見交流をしました。社会全体が里親制度を理解する取り組みの強化を知事に求めました。

2025年度予算で、里親支援センター事業費約3400万円が計上されました。里親支援センターが設置されると、里親制度の普及啓発や里親の研修、里子の委託に向けた調整、養育支援を担います。

里親だからこそその悩みにも対応して制度を推進することになります。

「健やかに育て！」医療費助成の拡大 保育士確保に全力を!!



道内各市町村で乳幼児医療費助成の対象年齢を引き上げ、子育て支援に頑張っています。

しかし、北海道の乳幼児医療給付事業は全国的にも遅れています。通院助成を小学校卒業まで拡大するための予算は21億円。道予算の0.1%ほどです。

保育園では保育士が見つからず、入所待ちになるケースも。保育士の処遇改善が急がれます。丸山道議は「国の取り組みの様子見とせず、独自に対策を！」と議会で取り上げ続けています。

～障がい児・者に安心の歯科医療を～



「障がいがあるために、一般の歯科医療機関では治療が難しい」そういった障がい児・者の歯科医療を行う大阪急性期・総合医療センターを視察。

拘束具もありますが、丁寧なコミュニケーションで極力本人がいやがることはせず、成長後も見据えた医療を提供していました。

運転手不足でバス減便！オホーツク「どこバス」視察

深刻な運転手不足と利用者の減少でバスの減便が続きます。網走バス線のオンデマンドバスの実証実験を視察しました。「タクシーほどではないが、バスより便利」と2年目には利用人数が10倍にも。網走市が赤字補填をしています。



…小樽・後志各地でも…

小樽・後志各地のバス減便で通学・通院が大変な状況に。北海道新幹線札幌延伸による並行在来線のバス転換見直しを求めて、北海道運輸局に申し入れました。



性暴力被害者をワンストップで支援「SACHIKO」

住みやすい道営住宅めざして 「家賃値上げやめよ」と主張

「オイルサーバー・エレベーターが設置されているから値上げする？」「民間住宅では当たり前の設備では？」

空き家が多いのは設備不備や立地条件が悪いからです。物価高騰のさなかに生活への負担増となる公的家賃の値上げはすべきではありません。

「住民のくらし守れ！」と議会で家賃値上げに反対しました。



蘭島地域の皆さんから「海岸線の駐禁区域を広げて」との声が寄せられ、小樽市や警察に交渉し、要望通り禁止区域が広がり、スッキリしました。

～住民要求が実現～



お困りごと相談お受けします

●月曜日～金曜日
●午前9時30分～午後3時30分

丸山はるみ事務所

小樽市稲穂1-12-205

ステーションハイツ

☎64-5591 FAX64-5592